



コロナ第五波の収束後 現地調査を精力的に実施中

(令和3年10月～12月)

■北海道農業公社委託事業に係る現地調査

(10月4日・13日・27日・28日・29日、11月10日・24日、

ました。

12月2～3日・8日・17日)

北海道農業公社から受託した研究課題について、現地調査を行いました。

■中央会委託事業に係る現地調査

(10月19日、11月22日、12月8日)

中央会から受託した研究課題について、現地調査を行いました。

■自主研究「コロナ禍を契機とした新しい生活様式の構築－農村からの提言」に係る現地調査等

(10月7日・11日、12月8日)

■自主研究「北海道農業協同組合史に関する調査研究」に係る研究会

(10月21日、11月18日、12月16日)

自主研究課題について、研究者の同席により研究会を開催しました。

■北農五連委託事業に係る現地調査

(10月15日・23日・30日、11月16日・18～19日・24～25日、

12月1日・2～3日・13日・15日・28日)

■ホクレン委託事業に係る中間報告

(10月22日)

ホクレンから受託した研究課題について、研究者から委託

者に対し中間報告を行いました。

推進するため開催するもので、会議の内容は今後の「研究所だより」に掲載しています。

■北農五連JA営農サポート協議会委託事業に係る現地調査

(10月25～26日、11月9～10日・15～16日、
12月3日・7日・21日)

北農五連JA営農サポート協議会から受託した研究課題について、現地調査を行いました。

■北農五連JA営農サポート協議会委託事業に係る研究班会議

(11月24日)

北農五連JA営農サポート協議会から受託した研究課題について、研究者の回席により、今後のどうあるべき方向などについて、研究班会議を行いました。

■中央会委託事業に係る意見交換

(10月28日)

中央会から受託した研究課題について、委託者、関連研究機関および当研究所により意見交換を行いました。

■自主研究「持続可能な農村づくりにおける結婚支援事業に関する調査研究」に係るリモート調査

(10月28日、12月28日)

自主研究課題について、オンラインによるリモート調査を行いました。

■モニター会議の開催

(11月17日)

農業者六名とJA職員一名の計七名のモニターが出席し、オンラインによるモニター会議を開催しました。この会議は農業者の生の声を聞かせていただきことでタイムリーな地域の情報を収集して、情勢の変化に的確に対応した調査研究を行いました。

■第4回理事会の開催

(11月30日)

令和二年度事業の実施状況と令和四年度の取組み（骨子）、令和三年度調査研究事業の実施状況等について付議し、全ての議案が承認されました。

■北海道農業公社委託事業に係る中間報告

(12月15日)

北海道農業公社から受託した研究課題について、研究者から委託者に対し中間報告を行いました。

■北農五連委託事業に係る研究班会議

(12月21日)

北農五連から受託した研究課題について、研究者の同席により、今後のとりまとめの方向などについて、研究班会議を行いました。



第4回理事会 (11. 30)

●出版助成事業対象書籍がJA研究賞受賞

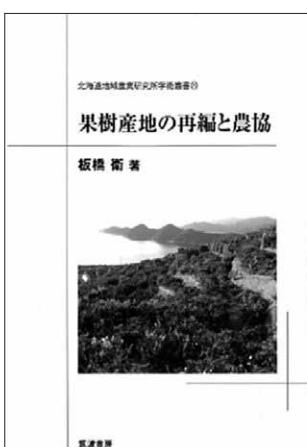
J A全中²⁰が、JAとJAに関連する協同組合運動についての優れた著書や論文を表彰する「令和二年度JA研究賞」に、当研究所の出版助成事業対象書籍（令和元年度）が選定され、12月15日に授賞式が行われました。

著書名 『果樹産地の再編と農協』（筑波書房）
北海道地域農業研究所学術叢書⑯

著者 板橋 衛（愛媛大学大学院農学研究科 教授）

本書は、愛媛県内の果樹産地における専門農協と総合農協の合併による営農経済事業を中心とした経営資源の再配分の実態を分析し、果樹産地再編の構図を整理しつつ、専門農協化の限界を明らかにしている。

そのうえで、新たな合併農協が、総合農協としての経営資源を生かして、地域農業や地域社会の支援に發揮する機能についても示唆している。



研究会・研修会等への報告者・講師の派遣

<p>○「中央アジア地域農民組織強化会議」 主催 つーじょ北海道 とき 令和3年10月18日 テーマ 研修のポイント コース長 坂下 明彦 (非研究所・所長)</p> <p>○「中央アジア地域農民組織強化会議」 主催 つーじょ北海道 とき 令和3年10月25日 テーマ アクションプラン作成指導 コース長 坂下 明彦 (非研究所・所長)</p> <p>○「中央アジア地域農民組織強化会議」 主催 つーじょ北海道 とき 令和3年10月27日 テーマ 研修の振り返りと全体的な質疑応答 コース長 坂下 明彦 (非研究所・所長)</p> <p>○「The 2nd International Symposium on Integrated Urban-Rural Development and Innovation of Social Governance in the New Era」(木ハリーハ) 主催 横浜市立大学地域貢献センター とき 令和3年10月28日 テーマ アクシヨンプラン発表 コース長 坂下 明彦 (非研究所・所長)</p> <p>○「The 2nd International Symposium on Integrated Urban-Rural Development and Innovation of Social Governance in the New Era」(木ハリーハ) 主催 横浜市立大学地域貢献センター とき 令和3年10月25日 テーマ スポーツ化・舞台作 品化につづく社交化 コースの可能性</p>	<p>講演 井上淳生 (非研究所・専任研究員)</p> <p>講演 石田 健一 (非研究所・専務理事)</p> <p>講演 石田 健一 (非研究所・専務理事)</p> <p>講演 石田 健一 (非研究所・専務理事)</p> <p>講演 井上淳生 (非研究所・専任研究員)</p>
<p>○「令和3年度 協同組合間協同分野交流会」 主催 協同組合ネット北海道 とき 令和3年11月30日 テーマ 報徳の教えと協同組合 石田 健一 (非研究所・専務理事)</p>	<p>○「令和3年度 協同組合間 協同分野交流会」 主催 協同組合ネット北海道 とき 令和3年11月30日 テーマ 報徳の教えと協同組合 石田 健一 (非研究所・専務理事)</p>

<p>トーマ Sustainable Regional development</p> <p>through municipal matchmaking in Hokkaido, Japan</p> <p>(団体による結婚 支援を通した持続可 能な地域づくりの取 組み－日本の北海道 を事例に)</p> <p>講演 井上淳生 (当研究所・専任研究員)</p>	<p>(「 助成対象者報告会」(オン ライン) 主催 日本協同組合連携機 構 (JCA) と き 令和3年12月28日 テーマ 持続可能な農村づく りにおけるJAによる 結婚支援事業の意 義 講演 井上淳生 (当研究所・専任研究員)</p>
<p>○ 「令和2年度JA研究奨励 助成対象者報告会」(オン ライン)</p>	

令和3年度 農業総合研修会オンライン開催のお知らせ

研修テーマ：日本と北海道の食はエシカルを目指す

講 師：株式会社グットテーブルズ

代表取締役社長 山 本 謙 治 氏

開催日時：令和4年2月15日(火) 13時30分～14時40分

開催方法：オンライン研修会（ズームでのリモート研修）

別途、参加申し込み受付し、申し込みEメール宛に配信
要領を案内します。

参 加 料：無料

問い合わせ：一般社団法人北海道地域農業研究所

電 話：011-757-0022

ファックス：011-757-3111

E-Mail:office47@chiikinouken.or.jp